

地域だより No.85

協会の沿革

松阪地区防火協会は、昭和32年7月に発足し、本年で60周年を迎えました。発足当時は「松阪市防火協会」として防火思想の普及啓発及び危険物の保安に努め、住民の安全安心の確保を目的に設置され、広域消防組合の発足や平成の市町村合併により、組織改編がおこなわれ、現在では協会管内の人口は約20万4千人、管轄面積767.76平方キロメートルという広範囲に及び地域の防火協会として成長しました。現在、松阪市、多気町、明和町、及びその他の地域の約350の事業所を会員として構成されています。

当地域は、古くは斎王の宮をはじめ、蒲生氏郷公や本居宣長、近代商人の三井高利などの著名人などを輩出した地域でもあり、管内は紀伊半島の伊勢平野の中央に位置し、東は伊勢湾を望み、西は奈良県境までの海あり山あり自然豊かで温暖な当協会エリアです。

主な事業内容

- 消防本部、消防団が実施する各種行事に対する協力
管内で行われる各種イベントなどを通じ、予防広報の支援、文化財防火デー、火災予防運動や危険物安全週間等の予防啓発に協力支援を行っています。
- 防火ポスター募集事業
管内小中学生の防火意識の醸成のため、毎年、防火ポスターを募集し、春秋の火災予防運動等において各事業所、公共施設などに配布・掲示し、防火啓発を行っています。
- 防火協会ニュースの送信
- 防火管理者資格取得講習会や危険物取扱者予備講習会の開催の支援
- 春・秋火災予防運動への実施協力



氏郷まつりでの防火啓発の様子

松阪地区防火協会の巻

また、会員相互の親睦や連絡協調を深めるため、ゴルフコンペの開催や意見交換会等を開催し、地域における防火のスクラムを固めているところでもあります。

その他、会員事業所の防火管理体制の充実のため、防火管理者講習受講料の半額負担や危険物安全大会、講習会への参加や支援をおこない、適正な管理体制が図られるように協会員の防火管理体制の強化も図っています。

功績

平成29年6月8日 松阪地区防火協会長と松阪地区広域消防組合消防長から、平素より消防関係機関との協調を図り、防火思想の普及啓発に努めるとともに、事業所や危険物施設の適正な維持管理を図り、防火・防災管理において特に他の事業所の模範と認められた以下の2事業所が「優良防火推進事業所表彰」を受賞されました。



(写真前列 防火協会長を中央に左より)

- ・有限会社 清水商会
- ・松阪興産株式会社

今後の抱負

当協会の目的である「防火思想の普及啓発を図り、地域住民の安全・安心を確保する」ため、引続き各会員と協調を図りながら積極的に事業を展開していきます。

また、特に、当協会管内では、平成20年6月から、全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられてから間もなく10年が経過し、10年を経過したものは取替えが推奨されているため、警報器の設置推進とともに、取替え等の維持管理の啓発活動を展開していきます。